

銅相場  
の焦点

# 銅スクラップは輸出入とも増加 トランプ氏や中国の動向

橋本健一郎氏リポート①  
・アルミ



橋本健一郎氏

十二月前半は、二〇一六年十二月のADP全米雇用リポートで非農業部門の雇用者数が前月比一五万三、〇〇〇人増と、市場予想(一六

万八、〇〇〇人増)を下回った事、英メイ首相の「EU単一市場へのアクセスを断念すること」になっても移民流入と立法の権限回復が優先事項」との発言がハードブリクシットと警戒された事などのマイナス材料もあったが、注目のトランプアメリカ次期大統領会見が目新しい内容がなかったが、カッパルがインドネシアの銅精鉱輸出禁止措置、十二月の米自動車販売は前年比三・一%増の年率一、八四三万台。二〇一六年通年は前年比〇・四%増の一、七五五万台と過去最高だった二〇一五年を上回った事を好感し、LME銅相場はUP。一月十四日時点で五、七九七(セツル)と月初価格より二二三ドルUPの前半締めとなった。

後半は、英国メイ首相の声明が、移民規制を重視する故にEUの単一市場から撤退するとの到来通りの内容であったこと、米国トランプ大統領がシリア難民の受け入れ停止やイスラム圏七カ国からの入国禁止令が行われたことなどのマイナス材料もあったが、米共和党のトランプ氏が第四五代米大統領に就任。貿易、税制、移民、外交のあらゆる面で米国民に恩恵を与える政策を行うと演説したこと、チリのエスコンディダ銅鉱山でストライキ決行を議決したこと、NYダウが一八九三年の統計以来、終値で二万ドルを突破したことを好感しUP。二月二日現在、後半スタート価格から七四ドルUPの五、九三一ドル。銅建値七二万円のスタート。

- ◆月間のドル/円レート (TTS)  
一一八・六九→一一四・七五(円)
- ◆自動車生産台数  
日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比四・二%増の七八万一、三七八台であった。
- ◆自動車販売台数  
日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比八・六%増の二五万八、〇八五台。
- ◆新設住宅着工戸数  
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比三・九%増の七万八、四〇六戸であった。
- ◆貿易関連指標  
財務省貿易統計によると輸出は前年比で電気

輸出

銅が三八・六%増の三万六、七二二t、スクラップが五五・一%増の三万二、九四三t。  
輸入は電気銅が前年比六〇・四%減の二、六〇〇t、スクラップ八〇・二%増の一萬一、八四二t。

■前月の国内指標  
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比七・三%増の六万四、七三〇t。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると、銅電線出荷量は前年比二%減の五万七、〇〇〇tであった。

■概況  
【自動車生産】  
十二月の四輪車生産台数は七八万一、三七八台で、前年同月比四・二%増となり、三カ月連続で前年同月を上回った。  
輸出は四二万二、八三六台で前年同月比二・七%の増加。

【自動車販売】  
十二月の国内自動車販売台数(軽を除く)は二五万八、〇八五台で前年比八・六%増と、六カ月連続プラス  
うち乗用車八・九%増、貨物六・六%増、バス三・〇%減。

【住宅着工数】  
・平成二十八年十二月の住宅着工戸数は七万八、四〇六戸で、前年同月比で三・九%増となった。また、季節調整済年率換算値では九二・三万戸(前月比三・二%減)となった。  
・住宅着工の動向については、前年同月比で六カ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は増、分譲住宅ともに増となった。

(持家)  
前年同月比では一一カ月連続の増加(前年同月比六・五%増、季節調整値の前月比では一・九%減)。  
(貸家)  
前年同月比では一四カ月連続の増加(前年同月比二・二%増、季節調整値の前月比では一〇・三%減)。  
(分譲住宅)  
前年同月比では先月の減少から再びの増加(前年同月比四・六%増、季節調整値の前月比では一・四%増)。(六面続)

輸出

(四面より続く)

・分譲マンション

前年同月比では先月の減少から再びの増加  
(前年同月比一〇・七%増)

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一四カ月連続の増加(前年  
同月比〇・六%増)

【伸銅品生産】

伸銅品生産は前年比七・三%増の六万四、七  
三〇tと八カ月連続増加。このうち内需は五  
万三、三〇二tで五・八%増と五カ月連続プ  
ラス、輸出は一万一、四二八tで一四・九%増  
と二カ月連続プラス。品別別では、銅条は二  
万〇、五二七tで一四・二%増と八カ月連続プ  
ラス、黄銅棒一万六、四四九tで一〇・一%  
増と八カ月連続プラス。

【電線】

前年比二%減の五万七、〇〇〇t。うち国  
内は二・四%減、輸出が二八・五%増。出荷  
部門別では、通信一三・一%増、電力一二%  
減、電気機械一・二%増、自動車八・四%増、  
建設電販七・二%減、その他内需一四・五%  
増。

【輸出】電気銅輸出が三八・六%増の三万  
六、七二二t。銅スクラップは五五・一%増  
の三万二、九四三t。

【輸入】電気銅が六〇・四%減の二、六〇〇  
t。スクラップは八〇・二%増の一万一、八四二  
t。

【見通し】

・自動車は生産が四・二%増。一月の国内  
販売台数が前年比八・六%増。生産が三カ月  
連続プラス、販売が六カ月連続プラス。

生産、販売共に一ケタ増加に縮小しており  
今後の動向に注意が必要

・住宅着工の動向については、前年同月  
比で六カ月連続の増加となっており、利用  
関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は  
増、分譲住宅ともに増となった。今後も期  
待。

・伸銅品は八カ月連続プラスの前年比七・  
三%増。需要の多い銅条が八カ月連続プ  
ラス。黄銅棒も八カ月連続プラスの一万六千  
t台超え。今後の回復に期待。

輸出は二カ月連続プラス。

・電線は輸出が二八・五%増と大幅増。用  
途の多い自動車が一四・四%増。ただ、全体と  
して減少傾向。

・銅輸出はトランプラリーによる急騰や内需  
の低迷を受けて、地金、スクラップともに増加

・銅輸入はトランプラリーによる急騰や内  
需の低迷を受けて大幅減少、スクラップは  
円高による割安感から増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は昨年到现在トランププワイ  
バーを受けて銅建値が七二万円に急騰した  
ことから、建値六〇万円近辺の塩漬在庫  
も市中に回り供給過剰状態。

単価急騰から一カ月強がすぎ、高値在庫  
もかなり薄まりつつある程度。玉も減って  
いるのではないか？

需要面に関しては、トランプ政策による  
不透明感はあるが、自動車生産、販売、住宅  
着工も足元堅調であるため、来年度に向け  
て需給が引き締まるのではないか？

【価格・為替予想】

今月はトランプ米大統領の発言・政策と旧  
正月明けの中国の動向に左右される。

トランプ米大統領に関しては、目先、混乱  
が続く入国禁止令、対ドル通貨政策、景気対  
策などがあるが、入国禁止令が自他ともに認  
める米国建国の精神に反するものであるこ  
とから混乱はしばらく続く。故に結果が先  
の経済対策を発表しても反応は限られるの  
ではないか。

中国に関しては、米との海洋問題、為替問  
題、貿易摩擦など抱えており、またすべてを  
中国が飲むとは思えず、中国経済にも悪影  
響がでるのではないか？

それらを踏まえた二月の銅価格は、トラ  
ンプ米大統領が米国人国禁止令を大幅解除  
し、中国との摩擦が一旦治まった場合、一月  
一段高の六、一〇〇ドルを予測。いずれか  
の場合は五、八〇〇ドル。下値はいずれの  
条件も達成できなかった場合、一月後半安  
値の五、五〇〇ドル。

為替は米トランプ大統領の為替発言や景  
気対策発言次第ではないか。

それらを踏まえ予測は、円高はトランプ  
米大統領の円安けん制発言がなされ、景気  
対策に目新しさがなかった場合、一月後半  
高値一段高の一・一円台(TTM)を予測。  
いずれも行われなかった場合現状の一・一八  
円台を予測。

銅建値に関しては六六〇〜七六〇円程度  
と予測している。

COMEX銅在庫

三日 一〇四、七九一トン

一、四三二トン増加